北斗句会

令和四年六月定例会（一日）　兼題　「青」「雨」

五十音順　　㊕は特選　石田きよし選

砂かぶり玄人衆の暑気払ひ　　大崎石州

花は葉にひいき力士の勝ち名乗り　　大森康正

鳴きさうな顔してなかぬ雨蛙　　竹内雲泉

緑蔭に人の輪のあり詩のあり　　田中資凡

㊕　青葉闇抜けてはるかに伊豆の海　　長池豆陽

㊕　花合歓や双子のねむる乳母車　　藤田紀潮

八十路爺青蘆原をけふも往く　　宮下ひかる

㊕　驟雨去る黙せしままの二人かな　　森田光彦

コロナ禍やウキウキ感の無き五月　　吉岡誠山

錦鯉跳ねて一気に景奪ふ　　石田きよし